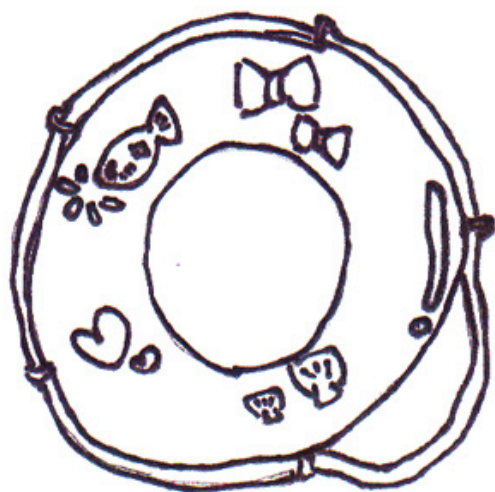
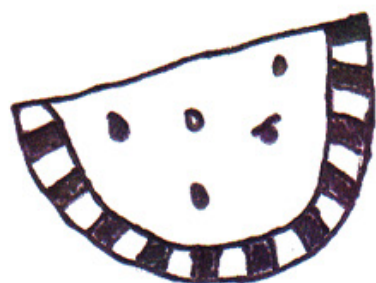


# とよ・たち美肌 通信 8月号 VO1

. 121



# August

今月のとち美肌通信の表紙は、

とってもおいそうなスイカとかき氷!!

暑い8月にぴったりですね。

からいらしいウキ輪で楽しくプールにも  
行きたくなります😊

なわとびや縄跳びをひく事が好きで、

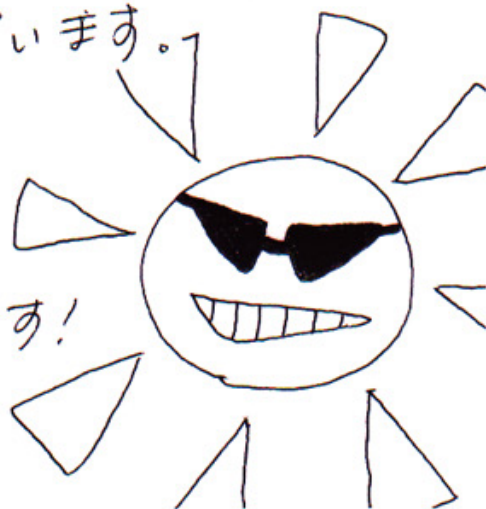
絵を描く事が得意な女の子が

描いてくぐさいました♡♡

ありがとうございます。

院長はじめスタッフ一同

じょうり感謝いたします!



今日は令和2年5月5日。緊急事態宣言が4月7日に発令されて約1ヶ月が経とうとしています。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う人の移動制限や外出自粛呼びかけの長期化によるいわゆる“コロナ疲れ”が取り沙汰されています。

確かに狭い家の中で、本来学校に行っているはずの子供がいて、3度の食事を用意しなければならず、しかも家では大した勉強もせず、一日をボサー...と過ごしている。とまあ、親からすれば“イライラが募るのも無理もない話である(私も高Iと中IIの親)。それはそれはブツ叩きたくもなる(私は自分の子供は愛の名のもとに叩きますけど)。

しかしみなさん、ここはグッと堪えて新型コロナウイルス感染症に打ち勝たなければなりません(本当の敵は我が子でなく、こっちですから)。  
↑子供だってがんばってますから。

人生なんてよく考えたら仕事かメインじゃないですか。私はそう思います。そして仕事も楽しいなんてことはほんの少ししかない(私はそう思います)。

苦しいことや辛いことだらけ(私はそう思います)。

私が好きな 坂村真民さんの詩を紹介します。  
新型コロナの今だからこそです。

『すべての人が幸せを求めている。

しかし幸せというものは そうやすやすと やってくるものではない。  
時には不幸という帽子をかぶってやってくる。

だからみんな 逃げてしまうか、

実はそれが 幸せの正体だったりするのだ。』

この詩は 私が 5月早の「とよ・たち」に書いた 太極図にも通  
じるところです。

もう一つ 坂村真民さんの詩で こんなものがあります。

『

闇があるから 光がある

苦があるから 楽がある

闇を生かせ 苦を生かせ

苦がその人を 鍛えあげる 磨きあげる

本ものになる

だから本ものになるためには

絶体絶命の瀬戸ぎわに 立たされねばならぬ 』

人生は一度きりである。私も本気でこの事態にあたり  
本物にいたる道を全うしたいものである。

院長、拝